

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能)

・色彩などの効果や人物の表情、画面の構図などに着目し、遠近表現の方法や人体表現について理解することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

・ルネサンス期の作品とそれ以前の作品の相違点や共通点に気付き、ルネサンス期の作品の表現の意図や創造的な工夫について考え、よさや美しさを感じ取り作品を鑑賞することができる。

(学びに向かう力、人間性等)

・ルネサンス期の作品のよさ、作品の特徴やよさ、また時代背景などにまで関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組もうとしている。

ICT活用のポイント

学習支援ソフトを活用し、「作品の特徴を見つけ、作品のよさや美しさを感じ、作者の思いを考えているか」を考える授業。

事例の概要

作品と出会い、本時のめあてをつかむ

個別に作品を鑑賞し、年代順に並び替え、その理由を考え発表する

集団で話し合い考えをまとめる

本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る

○鑑賞用とは違う作品を見せ、西洋美術に関するイメージなどを自由にあげさせる。

○【事例におけるICT活用の場面①】

学習支援ソフトのシンキングツールを使い、作品を並び替え、理由を付箋に記入させる。

○【事例におけるICT活用の場面②】

学習支援ソフトを使い、グループでまとめた意見を共有・発表する。

○【事例におけるICT活用の場面③】

学習支援ソフトを使って振り返りをする。

【美術・中3・「ルネサンスが目指したもの」②】

【事例におけるICT活用の場面①】

シンキングツールの活用



シンキングツールを準備したことで、生徒が作品の並べ替えをする際に、思考の整理がしやすくなった。

付箋機能の活用



付箋機能を使うことで、並べ替えた根拠を明確にすることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

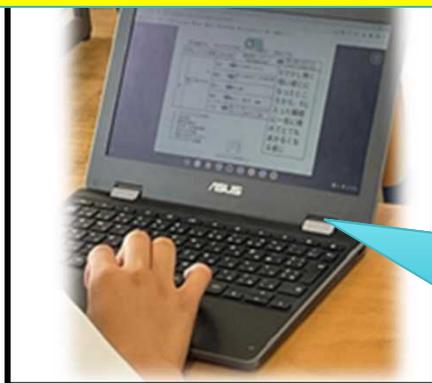
シンキングツールと学習支援ソフトの共有機能の活用



生徒がシンキングツールを使って考えた「作品のよさや美しさ、作者の思い」等を学習支援ソフトを使って可視化して共有することで、多様な考えを引き出し、見方や感じ方を深めることにつながった。

【事例におけるICT活用の場面③】

振り返りのデジタル化



振り返りをデジタルデータとして蓄積することで、スタディ・ログとして活用できる。